

令和8年度病院と地域の多職種連携事例検討会のご案内

1 目的

患者・家族が望む在宅療養への移行を円滑にするための病院と地域の多職種連携を実践する。

2 目標

- (1) 患者が安心して在宅(地域)で、その人らしく生活する(人生を全うする)ための病院と在宅との連携における課題を見出し、課題解決に向けた対応策を検討する。
- (2) 課題解決に向け、病院・在宅看護師、及び介護支援専門員・社会福祉士・地域包括支援センター職員等多職種での連携を強化する。

3 日時・会議方式

令和8年9月8日(火) 18時00分～20時00分

WEBで開催 (zoom ミーティング)

4 内容

病院及び在宅の現状と課題について、昨年度の検討会では地域包括支援センターの事例を中心に、課題解決のために参加者で話し合いました。

今回も 事例を募集し、出された事例について多職種で意見交換することで、病院と地域の双方の理解を深め、課題解決を図ります。

5 講師 (アドバイザー)

- (1) 長崎市地域包括支援センター連絡協議会 会長 榊 寿恵
- (2) 長崎県看護協会 在宅支援事業部 部長 下屋敷 元子
- (3) ショートステイ女神乃里 施設長 大町 由里
- (4) 長崎市包括ケアまちなかラウンジ 主幹 宮地 登代子

6 募集対象・募集人員

市内の病院(看護師・MSW)・施設(看護師・介護支援専門員・社会福祉士等)・訪問看護師・介護支援専門員・社会福祉士・地域包括支援センター職員等 30人

7 申し込み方法

9月6日までに登録サイトまたは二次元バーコードからお申し込みください。



8 課題・事例提出のお願い

各職場での課題・事例等を募集します。9月1日までにメールでご提出ください。

提出先 長崎市包括ケアまちなかラウンジ 宮地 登代子: m-toyoko@galaxy.ocn.ne.jp

令和8年度 病院と地域の多職種連携事例検討会プログラム (zoom での開催)

時間	内容	進行・アドバイザー
17:30	(Zoom 入室)	
18:00～18:10	開講 挨拶 研修要領説明 講師紹介	進行:主幹 宮地 登代子 長崎市包括ケアまちなかラウンジ 所長 山口 典昭
18:10～19:30	事例提示された方からの内容説明 その後参加者より質問・疑問を受けて 解決方法を協議する。	アドバイザー: 榊 寿恵 大町 由里
19:30～19:55	まとめ	下屋敷 元子 宮地 登代子
20:30	閉講	

病院と地域の多職種連携事検討会①

～在宅療養へのスムーズな移行を支える 病院と地域の多職種連携～

患者さん・ご家族が望む在宅療養へ、安心して移行できる体制をつくるためには、病院と地域の多職種が互いの現状や課題を理解し合い、連携を深めることが欠かせません。

本検討会では、病院及び在宅の現状と課題について事例を募集し、事例をもとに、病院と地域が日頃から抱える課題を共有して、双方の理解を深め、課題解決を図るための意見交換を行います。

【日時】令和8年 9月8日(火) 18:00～20:00

【方式】WEB講座(ZOOMミーティング)

【講師・アドバイザー】

○長崎市地域包括支援センター連絡協議会	会長	榑 寿恵
○長崎県看護協会在宅支援事業部	部長	下屋敷 元子
○ショートステイ 女神乃里	施設長	大町 由里
○長崎市包括ケアまちなかラウンジ	主幹	宮地 登代子

【対象】

病院(看護師・MSW)・施設(看護師・介護支援専門員・社会福祉士等)・訪問看護師・介護支援専門員・社会福祉士・地域包括支援センター職員等・専門職ならだれでも・

【定員】 30人 参加費無料

【申し込み方法】

9月6日までに登録サイト(<https://x.gd/moL0b>)
または二次元バーコードからお申し込みください。



皆さんが普段悩んでいる困りごとを みんなで話し合い、解決策を探ります！
お気軽にご参加ください！

事例を募集しています。困っていること、相談したいことなどメールで送ってください。

募集先 宮地登代子 m-toyoko@galaxy.ocn.ne.jp 〆切9月1日